

## S1C60N08 マニュアル 正誤表

項目		
対象マニュアル	発行 No.	対象ページ
S1C60N08/60R08 テクニカルマニュアル	MF1281-02	I-34
<p>(誤 :下線部)</p> <p>4.7.1 シリアルインタフェースの構成</p> <p>S1C60N08 は、マスクオプションの選択により使用可能となるクロック同期型の 8 ビットシリアルインタフェースを内蔵しています。</p> <p>図 4.7.1.1 にシリアルインタフェースの構成を示します。</p> <p>CPU は SIN 端子より入力されたシリアルデータを 8 ビットのシフトレジスタを介して読み取ることができます。また、同じ 8 ビットのシフトレジスタを介してパラレルデータをシリアル変換し、SOUT 端子に出力することができます。シリアルデータを入出力するための同期クロックは、マスタモード(内部クロックモード 本 CPU がシリアル入出力のマスタとなる場合) 3 種類とスレーブモード(外部クロックモード 本 CPU がシリアル入出力のスレーブとなる場合) 1 種類の中から 1 つをソフトウェアにより選択できます。<u>また、本シリアルインタフェースをスレーブモードで使う場合には、シリアルインタフェースが送受信可能かどうかを示す SIOF 信号をマスクオプションにより出力端子 R11 に出力することができます。</u></p> <p>(正 :下線部)</p> <p>... 1 種類の中から 1 つをソフトウェアにより選択できます。<u>また、マスタモードまたはスレーブモードいずれの場合も、シリアルインタフェースが送受信可能かどうかを示す SIOF 信号をマスクオプションにより出力端子 R11 に出力することができます。シリアルインタフェースの動作状態を示す SIOF (QECH D1) ビットも同じマスクオプションで使用が可能になります。</u></p>		

## S1C60N08 マニュアル 正誤表

項目		
対象マニュアル	発行 No.	対象ページ
S1C60N08/60R08 テクニカルマニュアル	MF1281-02	I-36
<p>(誤:下線部)</p> <p>4.7.3 データの入出力と割り込み</p> <p>(4) SIOF 信号</p> <p><u>S1C60N08 のシリアルインタフェースをスレーブモード(外部クロックモード)で使用する場合には、マスタ側(外部の)シリアル入出力回路に対して CPU 内部のシリアルインタフェースが送受信可能かどうかを伝えるための SIOF を出力することができます。SIOF 信号はマスクオプションにより出力端子 R11 より出力されます。</u></p> <p>SIOF 信号は S1C60N08 のシリアル入出力回路が送信または受信可能な状態になったときに"1" (HIGH)となり 通常は"0" (LOW)となっています。</p> <p>SIOF 信号は SCTRГ ビットをセットした直後に"0"から"1"に変化し、同期クロックが 8 個 (8 周期分) カウントされた時点で"1"から"0"に戻ります。</p> <p>(正:下線部)</p> <p><u>SIOF 信号は、マスターモードまたはスレーブモードいずれの場合も、マスクオプションにより出力端子 R11 より出力されます。</u></p> <p><u>例えば、S1C60N08 のシリアルインタフェースをスレーブモード(外部クロックモード)で使用する場合には、マスタ側(外部の)シリアル入出力回路に対して CPU 内部のシリアルインタフェースが送受信可能かどうかを伝えるための SIOF を出力することができます。また例えばマスターモードでは、ステータスビット SIOF_QECH_D1 を読み出すことによりシリアルインタフェースの動作状態を知ることができます。</u></p> <p><u>SIOF 信号出力と SIOF_QECH_D1 は S1C60N08 のシリアル入出力回路が送信または受信可能な状態になったときに"1" (HIGH)となり 通常は"0" (LOW)となっています。</u></p> <p><u>SIOF 信号出力と SIOF_QECH_D1 は SCTRГ ビットをセットした直後に"0"から"1"に変化し、同期クロックが 8 個 (8 周期分) カウントされた時点で"1"から"0"に戻ります。</u></p>		

## S1C60N08 マニュアル 正誤表

項目		
対象マニュアル	発行 No.	対象ページ
S1C60N08/60R08 テクニカルマニュアル	MF1281-02	I-37
<p>(誤)</p> <p>4.7.4 マスクオプション (7)出力ポートR11 (4.5 出力ポート参照)を、シリアルインタフェースの動作状態を示す SIOF 出力に設定できません。</p> <p>(正:下線部追加) 4.7.4 マスクオプション (7)出力ポートR11 (4.5 出力ポート参照)とR11 出力ポートデータビットQECH-D1)をそれぞれシリアルインタフェースの動作状態を示す SIOF 出力と SIOF の値が読み出せるステータスビットQECH-D1)に同時に設定できます。 <u>このオプションが選択された場合、R11 端子とR11 ポートデータビットQECH-D1)は、汎用出力端子とその出力データビットとして使用することはできません。</u></p>		

S1C60N08 マニュアル 正誤表

項目		
対象マニュアル	発行 No.	対象ページ
S1C60N08/60R08 テクニカルマニュアル	MF1281-02	I-40
<p>(誤)</p> <p>4.7.5 シリアルインタフェースの制御方法 SIOF：特殊出力ポートデータ (QECH D1) シリアルインタフェースの動作状態を示します。</p> <p style="padding-left: 40px;">"1"読み出し： RUN 状態 "0"読み出し： STOP 状態 書き込み： 無効</p> <p>RUN 状態とは SCTRG ビットへの"1"の書き込み終了からシリアルデータの入出力終了までを示します。</p> <p>(正 :下線部追加)</p> <p>... RUN 状態とは SCTRG ビットへの"1"の書き込み終了からシリアルデータの入出力終了までを示します。 <u>この特殊出力ポートデータ SIOF はマスクオプションで SIOF 出力が選択された場合のみ使用することができます。</u></p>		

## S1C60N08 マニュアル 正誤表

項目		
対象マニュアル	発行 No.	対象ページ
S1C60N08/60R08 テクニカルマニュアル	MF1281-02	I-24
<p>(誤)</p> <p>4.4.3 マスクオプション</p> <p>(2)</p> <p>“使用する”を選択した場合、割り込み条件成立から割り込み要因フラグ (IK) が “1” にセットされるまで、最大 1msec の遅延が生じます。</p> <p>(正)</p> <p>“使用する”を選択した場合、fosc1/8 (4 kHz)クロックによるノイズリジェクト回路を内蔵され、確実に入力割り込みをかけるには、16/fosc1 (0.5msec)以上、割り込み発生の状態を保つことが必要です。またこのとき、割り込み条件成立から割り込み要因フラグ (IK) が “1” にセットされるまで、最大 0.5msec の遅延が生じます。</p>		